



主催：(公社)日本都市計画学会中部支部
 共催：NPO法人日本シミュレーション&ゲーミング学会
 地域づくり評価部会、
 (公財)名古屋まちづくり公社名古屋都市センター

(公社)日本都市計画学会中部支部 国際交流講演会

復興と参加 -脆弱な空間のレジリエンスを高める-

Reconstruction and Participation

- a process to increase the resilience of vulnerable territories -

ラクイラ大学のパオラ・リッツィ教授に、国際事情と防災について、ケーススタディを織り込んで講演していただきます。また、日本とイタリアの比較についても触れていただきます。

【日時】

平成29年1月25日(水) 16:00~18:00

【会場】

名古屋都市センター 11階ホール
 名古屋市中区金山町1-1-1 金山南ビル
 (JR/名鉄/地下鉄 金山駅南口より徒歩1分)

【講演者】

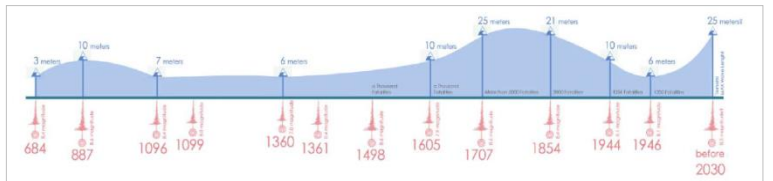
パオラ・リッツィ氏(ラクイラ大学教授)

※逐語通訳あり

【講師紹介】

Prof. Paola Rizzi
 イタリア出身。都市計画学について幅広い学識を有し、特に、防災やゲーミング・シミュレーションが専門。サッサリ大学教授を経て、2016年10月より現職。日本でも、立命館大学、高知大学において客員教授として共同プロジェクトに関わる。

近著に、Toshiyuki Kaneda, Hidehiko Kanegae, Yusuke Toyoda, and Paola Rizzi (2016) "Simulation and Gaming in the Network Society", Springer.



【お申込み・お問合せ】

氏名、所属、連絡先、参加者数をご記入の上、1月23日までに下記にE-mailもしくはFaxにてお申込み下さい。

(公社)日本都市計画学会中部支部事務局

名古屋都市センター内

E-mail tokeigakkai@nui.or.jp

F a x 052-678-2211

T e l 052-678-2216